

Weekly Report  
No.2311



イマジンロータリー  
2022-23 年度  
国際ロータリーテーマ

# Hashima Rotary

2022-23 年度 会長方針

## 「ロータリーの回帰・研修・改革」

会長 岩田 勝美 幹事 林 秀樹 会報委員長 平松 暁仁

Rotary 事務所：〒501-6255 羽島市福寿町浅平 3-106 TEL (058) 392-2888 FAX (058) 391-2266  
例会日：毎週火曜日 12:30~13:30 例会場：西松亭 E-mail：hashima@ccn.aitai.ne.jp

### 本日のプログラム

第 2584 回 2022 年 7 月 5 日 (火)  
『第 1 回例会』  
会長就任挨拶 2022-23 年度会長 岩田 勝美  
\*お祝い行事 \*入会式  
◎例会後、第 1 回理事役員会

### 次回例会のご案内

第 2585 回 2022 年 7 月 12 日 (火)  
『クラブフォーラム』 親睦・出席  
「出席について」 野中 学 親睦・出席委員

### 前回例会の記録

第 2583 回 2022 年 6 月 21 日 (火)  
『最終例会』  
「一年を振り返って」 会長 堀 雅利  
\*バッジ交換 【会長・副会長・幹事】

### 会長の時間



会長 堀 雅利

みなさんこんにちは！今年度最後の会長の時間となりました。いろいろと考えましたが、本日お話しさせていただくのは、インターアクトクラブについてで

す。

後ほど委員会報告にもあると思いますが、先週の例会後に浦田ガバナー・地区委員長・荒木幹事・虫賀青少年副委員長と赴きまして、無事、羽島ロータリークラブと羽島北高等学校とのインターアクトクラブ認証状伝達式を行ってまいりました。式典では「ロータリーとはどんな活動をされていますか。」「私達と一緒に何が出来るのでしょうか。」と目をキラキラと輝かせながらやる気みなぎる質問を沢山してくれました。

浦田ガバナーからは、この第 2630 地区に於いてインターアクトクラブが発足したのは実に 11 年振りの事で、この 1 年ガバナーを務めた内の最も記憶に残る中の一つとなったとお話がありました。このインターアクトクラ

ブですが、その活動は羽島ロータリーにとって経験した事の無い未知なる領域でありますし、かつ、今後非常に大切になってゆきますので、会員の皆様には興味を持ち広く知っていただきたいと思っています。そして、今回、羽島北高校の生徒会が羽島ロータリーの支援を受けインターアクトクラブを設立し、国際ロータリーに認証されたのですが、ここに至るまで荒木幹事・虫賀副委員長を始めとした会員の皆様の並々ならぬ努力がありました事、皆様に再度周知させていただくと共に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

先日、青少年奉仕がロータリーの五大奉仕へと加わったいきさつを話しました。青少年奉仕は次世代の善良で健全な奉仕の心を育成する事によって、地域への貢献や世界平和を構築するというビジョンがあります。その活動の中の一つであるインターアクトクラブは、中学高校生がロータリークラブの支援を受けてクラブを設立し、超我の奉仕を学び、行動力を身につけるという事を目的としています。今後、羽島ロータリーは顧問の先生と連携しながら、「指導者」としてインターアクターを支援してゆく事になります。また、通常のロータリークラブ活動と同じように、生徒と一緒に各クラブの活動を報告する、【年次大会】や【地区協議会】にも参加し発表を行うこととなります。そして何年かに一度は高校と一緒に当クラブがその大会ホストを行う事になりますので、その折にはどうか会員の皆様のご理解とご

協力をお願いしたいと思います。さて、ここに認定状がありますようにクラブ番号は223535となりました。日本では現在550近いクラブがあり、当地区では34クラブ目となります。今後、スポンサーとして何を高校生に助言してゆくべきか、インターアクトの活動計画書を拝見して他のクラブの活動を調べてみました。地域の清掃やイベント等のボランティア、海外との交流や募金や支援、はたまた英語の習得など学校によって各々が独自性ある、かつ伝統的な文化として定着するよう活動しているように見受けられました。もともと羽島北高校ではふるさと教育を熱心に取り組んでおられます。生徒会全員が地域の課題を探し、また地域ボランティア活動を行っています。これを「HKT ゆいまーるプロジェクト」と呼んでいるそうです。吹奏楽などの部活動をカラフルタウンで披露したり、野球やフェンシングの教室を開いたり、はたまた地域清掃や老人施設にて折り紙を折るなど、羽島北のゆいまーるプロジェクトは、私達ロータリアンが想像している以上に、地域に根差した奉仕活動に活躍している印象を受けました。彼らの活動は、ロータリーの哲学、「超我の奉仕」と近いものを感じます。活気あるインターアクトクラブは熱心に取り組むスポンサーロータリークラブがあって初めて実現されます。ロータリアンは水に困っている人に井戸を与えるのではなく、一緒になって井戸の掘り方を教えるものだと教わりました。ロータリーの究極にある青少年奉仕をスポンサークラブとして一緒になって取り組み、地域の明るい未来を築いていきたいと思っておりますので、今後の皆様のご理解とご協力をお願いしまして、会長の時間とさせていただきます。

一年間ご清聴いただき誠にありがとうございました！

## 感謝状授与



2020-21 年度  
国際ロータリー第2630地区  
岐阜西濃グループ ガバナー補佐 岩田 勝美君

## バッジ交換



2021-22 年度 荒木幹事より  
2022-23 年度 林幹事へ



◀ 2021-22 年度 堀会長より  
2022-23 年度 岩田会長へ



◀ 2021-22 年度  
柳原副会長より  
2022-23 年度 荒木副会長へ

## 卓話 一年を振り返って

2021-22 年度 会長 堀 雅利

いよいよ会長として話をさせて頂くのも最後となりました。

こうやって一日一日を振りかえってみますと非常に内容の濃い日々でした。

松田パスト会長が会長エレクト時代に会長をやってくれないかと声をかけていただいた時、何をおっしゃっているのだろう？と耳を疑った事を今でも鮮明に覚えています。その熱意に絆されて引き受けさせていただく事になったのですが、当時の私にはロータリークラブの会長の意味と重みがまだわかっていませんでした。皆さん、私に対する会長以前の印象はどんなだったのでしょうか？あまり出席しないで酒の席ではうるさい奴だなあ、なんてイメージだったのではないのでしょうか。私もそう思います。

しかし、通称：レアキャラ、いわゆる幽霊会員としてクラブに存在していた私は、会長引き受けを機にロータリーに対し真摯に取り組むよう意識が変化し始めたことは間違いございません。

どうせやるならちゃんとやらないと気が済まない性格もあり、ロータリーについて色々読み漁りました、そしてロータリーの事が少しずつわかってくるにつれ、事の重大さを認識しました。

皆の前で話すだけでいい、会長は話すのが仕事だからと言われたのですが、「騙された。どうもこれはそんな簡単な話じゃないぞ。やっぱり、パスします。」と言いたくなりましたが、もう引くにひけない状況でしたので腹をくくったわけでありませぬ。

雑な性格の私に対し、丁寧な性格の荒木会員に幸いにも幹事を務めていただき道筋をつけてもらえたおかげで今日まで辿り着けたのだと思います。

まず、私に白羽の矢がたった一番の理由、これについて考えました。私のロータリーに対する不真面目な姿勢を正したい、とするだけならば会長などという大役を任せることはしないはずです。そうであれば、ロータリーの事をほぼ理解していない私になぜ会長を任せるのだろうと自問自答しました。

そして、就任以前、徐々に会員が退会してゆき会員数が減っていった状況を考えまして、飲み歩くことが多い、その顔の広さを買われ、会員基盤の立て直しが最も期待される事なのだろうと推測しました。

しかし、私も真のロータリーを学び始めたばかり。親睦しか知らない私がロータリーを語り無責任に勧誘をしたくありません。もっと言えば、JC等を経験していない友人達に対して自信をもって説明の難しい当クラブに誘いたい気持ちになれるのかどうか、会長になるまでの間、出来る限り出席するよう努力し、かつクラブと自分を観察しました。

正直、JCや商工会を熱心に経験しているのとしていないのでは、ロータリー等に対しての認識とハードルが違います。言い方は悪いかもしれませんが、経験をしていない事業主にとっては、得体が知れない団体であり、動機づけることが難しいと思いました。

私は、入会してから自身にどのような変化があったかを考えてみました。それらは過去の会長の時間の中で話させていただきましたが、そのような経験から、自分の人生にプラスの効果があったのだから、友人にとっても価値あるものになるに違いない、と自信を持って、そして人を選んで勧誘をいたしました。

結果、11名の新会員を迎え39名の所帯とすることが出来、私に課せられた使命のほとんどの意味を達成する事が出来たのではないかと少し胸をなでおろしているところです。

そして、次に、若い会員の部類であり、入会歴も浅く幹事の経験すら無い私だからこそ、固定概念にとらわれずにクラブを眺めてみようと考えました。

ロータリー歴が長い会員には当たり前の事でも、活動計画書以外の伝統や文化については、経験の少ない私と荒木幹事にはわからない事ばかりで、非常にとまどう事が多く、壁にぶちあたりました。よって備忘録として体系的に書き残し、新会員でも調べれば、ある程度の事はわかるようにと準備をしています。いずれ、それをHPの会員専用ページに掲載し、歴代担当者が更新してゆきながら「あんちょこ」のようにして皆が使えるものにしていっていただければと考えています。

世界のロータリークラブ全体が抱えている問題として、ロータリーを知らずしてロータリーを去ってしまう現実がある、もっとロータリーを理解してもらうように、というガバナーや歴代先輩方の願いを込め「研鑽しよう超我の奉仕 涵養しようロータリー」とゆう会長方針にさせていただき一年を過ごしてまいりました。そして、ロータリーを知らずしてロータリーを去る、という事よりも、ロータリーが面白くなくて例会に出てこない、という事が一番恐れるべきことなのだ、という事にも気づかせてもらいました。例会を楽しみに出てきてもらえるようにするのは会長の仕事だ、と会長研修の中で教わりました。コロナ禍で出来る事に限界はありましたが、例会に来てよかったな、と少しでもロータリーの本質と良さを感じてもらえるよう努めました。また、クラブ内の調和と永續に向けて、RI会長の「もっと行動しもっと成長を」という言葉を受け、活動目標に様々な願いを込めた指針として進めてきました。

1. 皆でロータリーを学ぼう。若手の知識習得へと岩田エレクトに協力していただき、例会後にはTMSを行っていただき、又IDMや通常例会を通じ、ロータリーを学び研鑽していただけた事と思います。
2. 夜間例会を通じロータリーをもっと知ってもらおう。

知らない人にロータリー入会はハードルが高いものです、気軽にクラブの雰囲気を経験してもらえよう夜間例会を二か月に一度行いました。今、多くの新会員がここにいらっしやるよう、一定の効果を出せた良い機会となったと考えています。出来れば

今後も続けていきたいと思えます。

3. お互いを尊重し「全員参加・全体最適」なクラブとしよう。

各々に個性があるのと同様に、ロータリーのどこが好きなのかには個人差があります。また、その熱量も違うものです。まして、本業の忙しさも違うかもしれません。今所属の委員会や役職が大好き・大嫌いもそれぞれ仕方ありませんが、いずれ他の会員が輪番でその役となったときに適正な内容でなければなりません。各役回りと過不足に配慮しながら行動内容や人員の調整に努めました。

4. 有事の際に対応できるロータリーであろう。

まさに突然のコロナ禍で、例会など行う事が出来なかった過去から、リモート技術などを利用し、ロータリーが日常生活の中にある環境を準備しました。歴代会長にも理解いただき、最初は理事役員会の挨拶をyoutube、次にリモートによるバーチャル例会、バーチャル理事役員会を運営し、地区の中でも稀にみる「活動を続けるクラブ」であったと思えます。SAA 松田会員・佐溝会員・事務局黒田さんには本当に助けていただきました。次年度より IT 委員会としてこの経験は継承されてゆきます。

以上の活動を、固定概念にとらわれず、クラブの為になることと目標立て、その殆どは達成できたと思えますし、HP や会報を今風に刷新したり、新たにインターアクトクラブの設立までもが実現出来ました。

会長方針の中で羽島ロータリーの輝かしい過去と栄えある未来を繋いで行きたいと話させていただきました。

このように、今年度最終例会を無事迎えられました事、一重に歴代の先輩方、荒木幹事をはじめとする各理事役員・委員・会員の皆様のご協力あつての事です。本日を迎え、本当に本当にホッとしました(笑)。もとい、本当に本当に心から感謝致しております。私自身、ロータリーそして人生の哲学を勉強する非常に良い機会ともなりましたし、クラブにも何か少しばかりは良いものを残せたのではないかと考えています。7月からはいよいよ、言葉の魔術師岩田会長・そしてミスターインテリジェンス林幹事のベテラン最強コンビです。拍手でもって引き継がせていただき、羽島ロータリーの益々の繁栄を祈念いたしまして最後の言葉とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました！

## 委員会報告

### 米山記念奨学会

米山記念奨学会委員長 安江 一則

この感謝状にある4000万円とは、53年間の寄付累計総額を表しその功績に対しクラブに与えられた名誉ですが、現状の個人寄付(一率)では到底達成できない金額です。その他日本のロータリー本部に割り当て分、2000円/人数分の寄付を行っています。

過去の寄付状況ですが、新会員には米山功労者を目指して、毎年30,000円寄付を半強制的に10年間続け、功労賞の賞状・記念の盾が貰えました。新会員の減少に伴い寄付額も減少し、この慣例もなくなりました。

(2012年以降) 2007~09

の創立40周年には、寄付額100万円キャンペーンを実施・達成しています。その後の個人寄付は減少一途で、1人当たり15,000円となり現在

は10,000円を目安として、今年度は335,000円を米山記念奨学会に寄付しました。



### R研修情報委員会

#### IDM報告 (※第4・5回 同時開催)

日時：6月10日(金) 18:30 於：西松亭

#### 第4回

テーマ：『社会奉仕』  
リーダー 佐溝 勝樹 社会奉仕委員  
R研修情報委員 松田 和彦 【出席者9名】

R研修情報委員 松田 和彦

まず、現在羽島ロータリークラブで行っている社会奉仕事業の説明をさせていただきました。

1. JR 岐阜羽島駅公園での清掃作業
2. 社会福祉協議会への義援金
3. 仕合せ事業 羽島学園 双樹園への寄付
4. 6団体への協賛

川崎さんより、岐阜ロータリークラブの(故)服部芳樹様が作成された I SERVE より決議23-34の資料に基づき「ロータリーとは」「ロータリークラブとは」WE SERVEの究極にあるものについて討議しました。

この資料は、同じロータリーとはいえ外国と日本では解

積が違う事も多くあります。日本独自の奉仕の考え方をまとめられたものです。すべての奉仕は自己研鑽のためにあり WE SERVE の精神を磨くためにある。と考える事だと思います。

議論として

- ・社会奉仕の実態の調査 分析をした方がいい。長く続ける事と、新しく挑戦する事を考える。
- ・社会奉仕の活動をしていない。予算が余る。先輩方からは「総事業費の三分の一を使いなさい。」とよく言われた。
- ・過去にはすごく寄付をしている。会員数の低下から今は減る一方である。しかしだんだん会員数が増えている今見直す必要がある。
- ・新会員の意見が通りづらいのではないかと。これに対して、先輩方は皆さんの事をよく見ていらしゃるので一生懸命やっている人を応援するよ！という意見でした。
- ・決議 23-34 は難しく分かりづらいとの意見。これに対しては、理想を高く色々な意見があっている。但しロータリアンとして大切なもの、精神・寛容・誠実・謙虚・思いやり・感動・潔さ。言動として、約束は守る・嘘はつかない・人を欺かない・先輩を立てる・感動の心を持つ・すぐ実行する・快く引き受ける がベースにあれば自由に考えて。という意見がありました。

## 第5回

テーマ：『一年を振り返って』
リーダー 堀 雅利 会長
R 研修情報委員 野中 学 【出席者 13 名】

R 研修情報副委員長 野中 学

先ず、会長より今期の振り返りがありました。

誠に残念ではありますが地区大会と 9RC 合同例会が中止となり、納涼 BBQ 家族例会や職場例会、そして観桜例会と実施出来ない事が多く有り、このコロナ感染症問題はかなりの痛手となりましたが、そんな中でも昨年は実行出来なかった早朝例会や年忘れ家族例会や新年互例会の実施、そして打ち上げ旅行などが実施された事については、野中会長年度に比べれば、かなり良かったと思います。

そんな中でも IDM は蔓延防止時期を避けて延期をし

ながらでもすべて実施出来た事が、ロータリークラブの会員の皆様にとって意義のある事であったと感じております。

過去 2 年を振り返り、コロナ対策としてリモート技術を導入し、第 6 波の中バーチャル方式で例会を実施し、来季以降への足掛かりになった事も 1 つの成果であったと確信しております。

他にはインターアクトクラブ認証式や交換留学生の受け入れ、そして 2 ヶ月に一度の夜間例会など、過去にはあったが今まで長い期間実施されていなかった事も実行出来、とても良い成果があったと自負しております。

そんな会長の話の後に、参加頂いた会員の皆様からご意見を頂戴しましたので、一部報告を致します。

- 1, アクティブな会長であったので新入会員も沢山入会し、羽島 RC が活気付いた。
- 2, リモートバーチャル例会は是非取り入れてやって欲しい。
- 3, IDM の金曜日実施は良い案であったので、今後も導入して欲しい。
- 4, リモートバーチャル例会は時代の流れで理解は出来るが、どうしてもついていけない人もいる事を逆に理解して、今後の話を進めて頂くと有難い。
- 5, リモートによる例会は初め反対であったが、話し合いを進めていく中で意見が変わり、まだまだ整備をする必要はあるが導入をしても良いと思う。
- 6, 現在仕事でリモートは導入済みで長く実施しているが、マンネリ化してきているのか画面の向こうで他事をやっていたり、集中していない方を良く見かけるし、やはり顔を合わせて話をしたり聞いたりの方がコミュニケーションが取れ、信頼関係やお互いの理解を深められると思うので、例会は対面で行って頂きたい。

## 次期 IT 委員会

IT 委員長 平松 暁仁

6 月 16 日、18 時より西松亭にて IT 委員会活動始動前の最終打ち合わせをしました。

参加者は、堀会長、荒木幹事、岩田さん、西松さん、佐溝さん、次期入会確定の天野企画、天野さんと私、平松の 7 名にて行いました。

まず、次期 IT 委員会としての活動といたしまして、毎

例会の中継と録画を予定しておりますので試運転を試みました。

主にパソコン機器の確認作業をしました。

その他といたしましては、今後の活動とその先に秘めている可能性について語り合えた集まりとなりました。

例会中継の注意点といたしましては、例会をリモートにて参加されても、例会の出席とは認められません。例会場に足を運んで、それぞれの顔と顔を合わせてこそ出席と考えられるからです。

例会出席に関しては今までと変わりませんが、もし例会場に行けず欠席されても、その日の例会をリモートにて視聴できるシステムになります。

個々の状況に応じて参加は可能になるシステム運営を行ってまいります。例会出席を大切にされるロータリー精神は何も変えません。

その為、私達 IT 委員会といたしましても、何より例会出席率が良くなることを強く望みます。

以上、IT 委員会始動前打ち合わせの報告となります。

## 青少年奉仕委員会

### インターアクトクラブ認証状伝達式 開催

日時：6月14日(火) 16:00～

場所：羽島北高等学校

参加者：2021-22 年度国際ロータリー

第 2630 地区ガバナー 浦田 幸一様

地区インターアクト委員長 布目 美智男様

次期地区インターアクト委員長 今津 美憲様

羽島 RC 会長・幹事・虫賀青少年奉仕委員



## 出席委員会

・本日の出席率

出規定会員数 32名中 28名 87.50%

・6月7日の補填出席率

出席規定会員数 32名中 27名 84.38%

## ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

◆堀 雅利君 荒木 義男君 安藤 賢治君  
岩田 勝美君 林 秀樹君 野中 学君  
小椋由美子さん 平松 暁仁君 松田 和彦君  
安江 一則君 辻井 晃君 佐溝 勝樹君  
杉山 大地君 丸山千恵さん 栗山 浩幸君  
久米 勉君 栗山 和洋君 虫賀 大輔君  
青木まき子さん 梁 麗娜さん 柳原 望成君  
森 輝廣君 加藤 大輔君 山下 正弘君  
木寺 祐樹君 林 良典君

本日は堀会長年度の最終例会です。一年間お疲れ様でした。卓話を楽しみにしております。

◆江崎 秀明君

◆堀 雅利君

一年間、皆様本当にありがとうございました。

◆安江 一則君 川崎 正一君

米山記念奨学会よりクラブへ、寄付額4千万円達成の感謝状が届きました。

5千万円に向け一層の寄付をお願いします。

◎仕合せ貯金

堀 雅利君 荒木 義男君 森 輝廣君  
山下 正弘君

## 幹事報告 (第2583回)

- 6月24日(金) 新旧理事役員懇談会が18:30～西松亭にて開催
- 6月28日(火) は休会
- 次回例会は7月5日(火) 2022-23 年度『第1回例会』岩田会長就任挨拶と『入会式』例会後、第1回理事役員会を開催
- 岐阜西濃グループガバナー公式訪問・合同例会 インターシティーミーティング報告書配布
- 事務局の勤務時間変更 7月より10:00～16:00
- 回覧内容  
①2022-23 年度活動計画書 第2回校正

## 7月のお祝い

\*\*\*\*\* 在籍表彰 \*\*\*\*\*

30年間 皆出席 川崎 正一君

10年間 皆出席 松田 和彦君

\*\*\*\*\* 皆出席表彰 \*\*\*\*\*

6年間 皆出席 安藤 賢治君

1年間 皆出席 栗山 和洋君

\*\*\*\*\* 会員誕生 \*\*\*\*\*

横山 方彦君 (18日) 林 秀樹君 (25日)

\*\*\*\*\* 夫人誕生 \*\*\*\*\*

南谷 恵子様 (15日)

\*\*\*\*\* 結婚記念 \*\*\*\*\*

安江 一則君 (4日) 横山 方彦君 (18日)

平松 暁仁君 (26日) 辻井 晃君 (22日)